



第23回 梓川女性フォーラム

梓川女性団体連絡協議会の主催による梓川女性フォーラムが1月27日(土)に、梓川老人福祉センターで開催されました。

まずは、JAあづみ女性部と理事経験者の方々と、平成26年度に結成された「スコップ三味線シャベラーズ」が、塩尻市在住の小学生ドラマー太田拓実君と共演し、会場内は軽やかで素晴らしい演奏が響き渡りました。その後、安曇野市穂高にある前角整形外科医院院長で、医学博士の前角久義氏に、「骨・関節の治療



の進歩」と題して、講演会が行われました。加齢に伴い筋力が衰え、骨粗しょう症になると、転倒しやすく骨折を起しやすくなるため、健康で自立した生活を送るためにも、毎日の軽い運動を続けることが大切だと教えていただきました。
フォーラムの最後には、農産物加工品の販売が行われ、地元の商品組合さくらの方々によるスイーツやパンなど、約30品目が販売され、来場された大勢の方々がいちいち求めている姿が印象的でした。



梓川地区福祉のつどい ～個人が支える梓川の健康 梓川が支える個人の健康～

梓川地区地域福祉計画推進委員会の主催で、2月4日(日)に梓川地区福祉のつどいが開催されました。当日は、厳しい寒さの中、大勢の参加者で会場は賑わいました。

梓川公民館で行われた講演では、第1部に相澤病院放射線画像診断センター長の小口和浩先生を講師に招き、『PET検査でわかることーがん・認知症ー』をテーマに、映像を見ながら通常では見付けることが困難な小さな病巣を、PETにより早期発見が可能



なことなど、分かりやすく説明していただきました。第2部では、千葉大学予防医学セ

ンター特任研究員の宮國康弘先生を講師に招き、『健康とくらしの調査から見る梓川地区の健康』をテーマに講演していただきました。梓川地区は地域のサポートが豊かであり、グループ活動への参加意欲を持った高齢者が多いことから、今後は地域の人々が気軽に集える居場所を拡充させることを提案していただきました。



老人福祉センターでは、児童センター、地区社協、福祉ひろば、公民館がそれぞれの活動の展示コーナーを設け、また健康と相談のコーナーでは専門家が健康測定や相談を受けていました。最後に、災害時等に使用されるハイゼックス袋を使ったオムレットと、豚汁が無料配布されました。健康と福祉を改めて認識することができた、とても有意義な催しになりました。

あずさっ子旅立ちの瞬間



3月15日 小学校卒業式



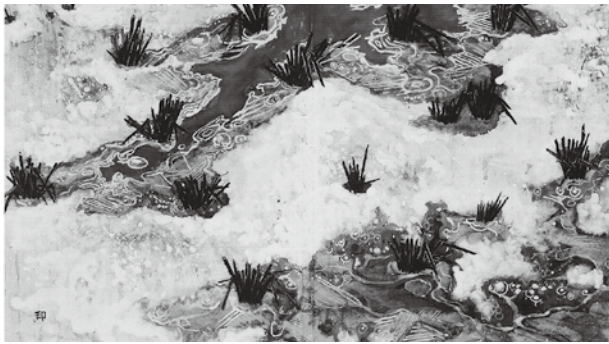
3月14日 中学校卒業式

第17回信州梓川賞展

「梓川流域の風景・文化・行事」

梓川アカデミア館では2月21日(水)から3月21日(水)の間、梓川流域の風景・文化・行事をテーマに描かれた「第17回信州梓川賞展」の展覧会が開催され、初日の21日には入賞、入選作品の表彰式及びオープニングセレモニーが行われました。今回は一般の部に59点、小中学生の部には44点の応募があり、その中で最高賞となる梓川賞一点をはじめ、金賞一点、銀賞二点、銅賞五点、特別賞三点が選出され、表彰されました。

式典では、梓川賞を受賞し



▲梓川賞「氷田」(日本画)



た百瀬邦孝氏が受賞者を代表して挨拶をし、「生まれ育ったこの地が、私の創作の原点になっている。この作品は、農家やこの地に住む人の思いを込めて描いた作品。今後も自分なりの作品を精一杯描いていきたい。」と述べていました。審査員を代表して小川稔氏(松本市美術館館長)が挨拶をし、「今回は、この地域に根差したユニークな作品が多数寄せられ、どの作品も作者の思いが伝わってきた。この地域は画材の宝庫。今後も地域に根差した作品を描いてほしい。」と講評を述べていました。

上立田公民館 冬季スポーツ祭



2月4日(日)に上立田公民館において、冬季スポーツ祭が開催されました。競技は、梓川地区スポーツ祭でお馴染みの、囲碁ボールとシャッフルボードです。

囲碁ボールは、囲碁というより五目並べに似ており、スティックで打ったボールをマットの中に並べて、勝負を争います。多くのボールを並べながら、逆に相手チームには目を作らせないように配置していくことが勝敗にも影響するため、頭を使いながらも楽しむことができるスポーツです。



シユートしていきます。相手チームが点を取りにくい位置に円盤を配置しながら、的中に自チームの円盤を多く残していく競技で、オリンピックで人気になったカーリングに似ています。

当日は約30人の地域の方が参加し、午前9時から11時頃まで試合が行われ、外の寒さとは対照的に、中では熱戦が繰り広げられました。

競技終了後には表彰式が行われ、各競技上位から最下位のチームまで、参加者全員に成績に応じた賞品が渡されました。

スポーツを通じて、健康増進と住民同士の交流を深めることができた、スポーツ祭になりました。

ファミリースキー教室



1月21日(日)野麦峠スキー場(松本市奈川)を会場に、梓川地区ファミリースキー教室が開催されました。

当日は晴天に恵まれスキー場からは、雪で真っ白に染まった乗鞍岳を見ることができ、絶好のスキー日和となりました。残念ながらインフルエンザの流行により、欠席されたご家族もありましたが、当日は8組21人の参加者がスキー



教室を楽しみました。

初心者と初級者のクラスに分かれて、レベルに合わせて講師の方々が丁寧に指導されていました。参加者の中には、全く初めてスキーを履いたという参加者もあり、最初は慣れないスキーに苦戦していたものの、午後には1人でリフトに乗り、楽しそうに滑り下りてきました。初級クラスも午後になると急斜面を滑れるほどに上達し、講師を先頭に列になりながら、ターンをして滑り下りてくる様子が見られ、保護者の皆さんも子供たちの上達の早さに驚いていました。

講師の方々の、安全に楽しく滑る指導のおかげで、怪我や事故もなく、参加者にとって思い出に残るスキー教室になりました。